

健やか



春日井市立柏原中学校
保健だより 1年生号
平成 27 年 2 月 19 日



体・心・命の学習

命の大切さについて考えよう ～あなたは地球の宝物～



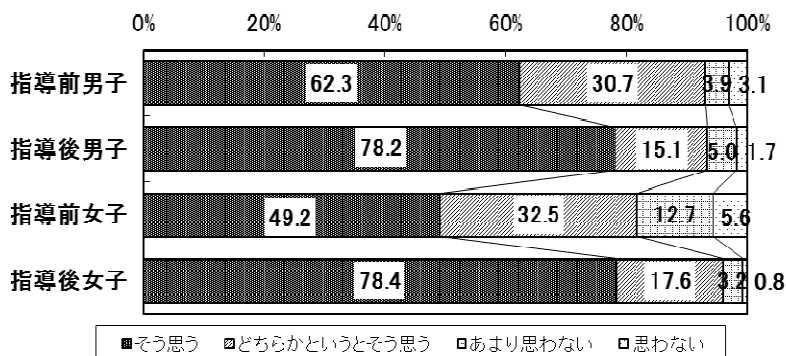
地球が誕生してから今日まで、命はずっとずっと長い鎖でつながってきました。そして今、あなたは、命の鎖の一番先にいるのです。

過去無量の命のバトンを受け継いで、今、自分の番を生きています。あなたの命のバトンが途絶えることなく、次の世代に受け継がれていくことを願っています。



命の学習「命の大切さについて考えよう」を終えて

あなたは、生まれてきてよかったと思いますか(H26年度中学1年)



命の学習の授業を終えて、「生まれてきてよかったと思う」「どちらかというと思う」と答えた人は、男女ともに増え、90%以上でした。

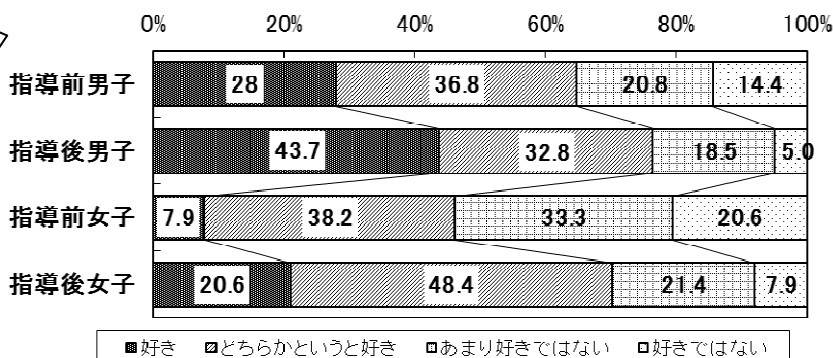
親から受け継いだ命のバトンを大切に、今を精一杯生きていって欲しいと思います。



指導後には、「自分のことが好き」「どちらかという好き」と答えた人は、男女ともに増え、70%以上でした。

一人一人はかけがえない存在です。ありのままの自分を受け入れて、自分の命・体・心を大切にできる人になって欲しいと思っています。

自分のことが好きですか(H26年度中学1年)



授業の感想



お父さんやお母さんのおかげで、自分がいるということがよくわかった。これからも命を大切に、いい人生を送る。

1の1 男子

お腹の中にいて、動いているだけだと思っていたけど、10か月の間に、色々なことをして成長しているんだなあと思った。

1の1 女子

初めは鉛筆の先ぐらいなのに、大人になると、大きい人は180 cm以上になるのがすごいと思った。

1の4 男子

赤ちゃんにヒシがあって、それが生まれて自分になることが想像つかない。人類ができたのと同じように、自分も生まれてくる過程を過ごしていて、歴史を感じた。

1の4 女子

最初はある小さな丸なのに、ここまで立派に育ったんだと思うと、自分って何億の中の一人だから、かなりすごいし、強いと感じた。

こんなにすごい命をもらった自分を無駄にしたくない。

1の7 男子

命はとても大切なものだと、改めて分かった。これからは、自分も大切だけど、周りの人も大切にしようと思った。私は生まれてくれてよかったと思った。

1の7 女子

自分が生まれたことは奇跡なんだと思った。

1の2 男子

命ができるまでには、いろいろなことが起こっていたり、時間をかけて生まれてきたりしているんだと思った。授かった命はとても大切なものなんだと思った。いらぬ命なんてないんだと思った。

1の2 女子

自分の命は、たくさんの人のおかげで生まれてきたことがよくわかった。

1か月～10か月の間に、赤ちゃんがどんどん成長するよう、僕も体だけではなく心も成長するようにします。

1の5 男子

受精をしたときから生まれるまでに、魚になったりカエルになったりして、人間になることに驚いた。

命は価値のあるものだから、すぐに「死ぬ!!」とか言わずに、命を大切に、命のバトンをつないでいきたい。

1の5 女子

命はみな平等だから、いじめをしてはいけないと改めて思った。

1の6 男子

命をもっと大切にしようと思った。親にもっと感謝しようと思った。病気には絶対にかかりたくないと思った。

1の8 男子

3か月と6か月の胎児を抱っこして、3か月经ただけで、こんなにも大きくなって、体重が重くなっていることにびっくりした。

1の3 男子

頑張って生まれてきた命だから、頑張って生きて、大切にしようと思った。お腹の中にいるときも、頑張っていたんだと思った。

1の3 女子

命はたくさんの奇跡が重なって生まれてきた、すごく大切なものだと思ったので、もっと自分の命を大切にしたいと思った。

1の5 男子

奇跡が重なって生まれてきたのが自分なんだと思った。38億年の命の進化の歴史を、たった10か月でたどってきたと思うと、人間はすごいと思った。

自分が生まれてきて喜んでいる人がたくさんいるし、自分のためにも一生懸命生きようと思った。

1の6 女子

命は本当に大切だなあと思った。自分が生まれた奇跡、お母さんに出会えた奇跡に感謝して、今を精一杯生きようと思った。

1の6 女子

自分が生まれてきた歴史とかを知ると、すごく不思議で、自分が生まれたことは、すごく特別なことなんだと思った。

1の8 女子